

特集

中国語を学ぶ仲間 中国に行こう

你好!

TJFと高校中国語教育関係者の長年の夢であった「中国語を学ぶ高校生のための中国短期研修」が、2007年夏、中国政府の招聘で初めて実現しました。中国国家漢語国際推進指導グループ(以下「漢弁」)が主催しTJFが実施したこの研修は、「漢語橋日本高校生夏令営(漢語橋：日本の高校生サマーキャンプ)」と名づけられ、漢弁が推進する「漢語橋プロジェクト」の一環として実施されました。TJFがこの研修でめざしたことは、日本の高校生たちに、中国語の運用能力を高めてもらうこと、習ったことばを実際に使ってみる楽しさを味わってもらうこと、中国の社会・文化を体験してもらうこと、現地の人々に直接触れ、特に高校生と交流してもらうことでした。全国33都道府県の108校から約280名の応募があり、そのなかから選ばれた91名の高校生と引率教師、総勢99名が、10日間の行程で北京と大連を訪問しました。

今号では、参加者が現地で何を経験し、どんなことを感じたか、研修後の波及効果も含めて紹介します。



特集 p.1

中国語を学ぶ仲間と中国に行こう

漢語橋10日間の記録

91通りの感性で体験した中国!

子々孫々まで続く友好を願って

友情の橋を架け、日本語教育を促進

メールがつながる友情

成果と課題：より充実した研修に向けて

シリーズ p.10

見る聞く考えるやってみる授業 38

日常のなかでの自然な交流

TJFニュース p.12

TJF設立20周年記念事業を振り返って

一人でも多くの先生方に使っていただくために ほか

お知らせ p.16

漢語橋 10日間の記録

1日目

個 性的なメンバーが成田に大集合！緊張した顔、顔、顔。目をキラキラ輝かせている少年も！「もう着いたの」って感じで夜中に北京到着。ホテルの部屋に着いてパタパタしていたら、早くも夜中の2時。早く寝よう。



スーツケースも100個並ぶと圧巻。

2日目

目 覚まして元気&爽やかに起床。早速大学での研修がスタート。開講式で参加者代表が中国語でスピーチ、うまくて羨ましい！よし自分も頑張ろう。



開講式の後、全員で記念撮影。



授業ではみんな真剣そのもの。

い よいよ6クラスに分かれて中国語の授業。えっ、先生、中国語だけで話すの?! しかも速くて全然分からない(汗)。落ち着け、落ち着け。ところどころ単語が分かってきたぞ、これはいけるかも。

3日目

先 生のつくった中国結びって超きれい！でも、めっちゃくちゃ難しいよ。時間内になんとか完成できた子もいたけれど、私たちができなかった子には、引率の先生がつくってプレゼントしてくれた。よかった！



有名な先生が優しく教えてくれた中国結びに四苦八苦。



動きはまだまだ盆踊り？

太 極拳の先生カッコよかったなあ。動きがゆっくりすぎて腰が痛くなっちゃったけど、とても新鮮で楽しかった。日本に帰ったら友だちに教えてあげよう。

4日目

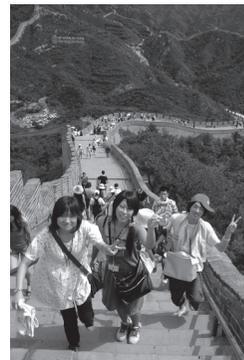
授 業の締めくくりは成果発表会。どのクラスも個性と工夫があったけど、やっぱり中級クラスの買い物劇はさすがだったね。中国語の先生方と別れるのはとっても寂しいけど、このあと楽しい活動がいっぱい待ってる！



クラスごとに学習成果を発表。

5日目

レ が万里の長城？タカイ、キツイ、アツイ！観光客がオオイ！加えて物売りがシツコイ！よし、男坂に挑戦だ。この絶景は登らないと見られない！なんか中国にいる実感がするなあ。



女の子も男坂に果敢に挑戦。



秀水市場で中国語の実践と買い物を経験して二重の喜びを堪能。

授 業で習った「再便宜一点(もっと安くして)」を言ってみたら、通じた！「な〜んだ」と気が大きくなってどんどん交渉。信じられない値段で買えた！お土産をいっぱいゲット。もう嬉しい！

6日目

テ レビでよく見る天安門が今、目の前に！雨に煙った佇まいもまたいい。歴史を感じさせるなあ。でも、広すぎる。歩いても歩いても敷地が続く。さすがに疲れたよ。



北京の街はオリンピックに向けて建設ラッシュ。故宮の中も修繕工事中。

7日目

愛 しい北京、楽しかった6日間をありがとう！寂しいけどこれから大連だ、と期待をふくらませている場合じゃない。バスが路肩に止まったぞ。ここは空港高速の上。まさかの故障。飛行機に遅れちゃう。



空港から引き返してきた2号車に乗りかえて再出発。



開放感を味わいながら市内見学。

こは同じ中国？ なんかもヨーロッパの街に来たみたいだ。おしゃれな建物、彫刻がいっぱいある広場、青い海(といたかったけど、ちょっと濁ってる。まあ、異国の海に違いない)。緑もあって自然を感じる。北京は北京でよかったけど、大連のほうが好きかも。

8日目

花 束の出迎えなんて、スターになった気分だなあ。なに？ この子たち日本語がペラペラ！ こっちの中国語が恥ずかしくて話せなくなっちゃうよ。日本の高校生の意識だ、中国語で返そう。



大連市第十六中学を訪問し、中国の同世代と初対面。



マクドナルドで休憩する参加者と大連市第十六中学の生徒たち。

買 い物に疲れた、ちょっと休憩。中国の子もマックが好きなんだ。中国語と日本語と英語のごちゃまぜだけど、こうやって話すと楽しい。今日初めて会った感じがしないや。この時間ずっと続けばいいのに……。

9日目

旅 順第二高級中学の子たちはみんな芸達者だね。勉強ばかりかと思っていたら、いろんな楽器の演奏ができるし、遊びも上手。一緒にゲームして本当に楽しかった。えっ、もう終わりの時間？ まだ帰りたくないよ。



中国の伝統的な遊びである羽蹴りも教えてもらった。

热烈祝贺日本高中生访问团访问



最後にみんなで「朋友」という中国語の歌を披露。

んなステージ付きの広いホールで、教育局の偉い方に盛大な歓送夕食会を開いてもらえるなんて、超感激！ 招いてくださった中国の方々、お世話になった先生方、本当にありがとうございます。もう胸がいっぱいです。

10日目

私 たち、海を渡って違う世界からまた成田に戻ったんだ。これでバラバラになっちゃうの？ もう簡単に会えないの？ でも、メールしようね、同窓会やろうね。



10日間を一緒に過ごした仲間と涙、涙の別れ。

は、生徒の記録をもとに構成しました。

盛りだくさんの10日間

- 1日目 成田空港に集合して結団式、夜の便で北京へ
- 2日目 開講式後、中国語の授業を開始
- 3日目 午前：中国語の授業
午後：中国結びと太極拳を体験
夜：雑技観賞
- 4日目 午前：中国語の授業
午後：成果発表会と首都計画館見学
夜：北京在住の日本人と交流
- 5日目 午前：万里の長城見学
午後：秀水市場で買い物実習
- 6日目 午前：天壇公園・天安門広場・故宮見学
午後：王府井散策、買い物実習
夜：北京市国際教育交流中心主催の歓送会
- 7日目 午前：北京から大連へ
午後：市内見学
夜：京劇観賞
- 8日目 午前：極地海洋動物館見学
午後：大連市第十六中学(高校に相当)訪問。十六中学の生徒と公園散策、その後ショッピング
- 9日目 午前：旅順で水師營・二〇三高地見学
午後：旅順第二高級中学で交流会
夜：大連市教育局主催の歓送会
- 10日目 大連から帰国、成田空港で解団式

※首都経済貿易大学での中国語の授業は、自己紹介、学校紹介、食・買い物に関する表現と発音指導を中心に、入門3クラス、初級2クラス、中級1クラスに分けて、少人数構成で行いました。

91 通 り の 感 性 で 体 験 し

中国語の学習意欲やレベルが向上した



最も衝撃的に僕の記憶に残っているのが、現地の学生との交流です。ことばが通じない、コミュニケーションが取れない悔しさというものに初めてぶつかったように思います。そしてこの衝撃は研修が終わった時には、「帰ったら中国語の勉強をしよう」という強い決意に変わっていました。……I.K.君/高2[埼玉]

この研修に参加する前の私は、中国語特有のピンインや四声が苦手で、授業についていくことさえ必死でした。しかし、中国研修の授業では、食事や買い物の時などの、高校の授業でも習っていないような日常会話や漢詩などを学ぶことができ、そのおかげで中国研修から戻ったあとは、中国語の先生に発音が滑らかになったと言っていました。……H.T.さん/高2[京都]

授業では、何回も買い物を選定した会話が行われた。そのおかげで、街での買い物体験の時、中国語で値切ることができ、本場で中国語を使える楽しさ、現地の人と交流できる嬉しさを感じた。……T.C.さん/高3[埼玉]

日本で習った内容なのに、いざという時にことばが出てこないという場面が幾度かありました。現地の3日間の授業では、実践的な内容を学ぶことができ、「コミュニケーション能力」を養うことができました。この経験を生かして、今後の中国語学習では、椅子に座りながらももっと声を出して、アクティブに取り組みたいです。……I.A.さん/高3[兵庫]

中国新発見



ニュースや写真のなかではない「現実の中国」を見られたことで、以後自分が中国を見る目が変わったように思います。現地で生活している人は、その生活の流れの中で生きていて、それが余計私に「異国に来たんだ」という気持ちを起こさせました。……I.S.さん/高2[埼玉]

日中には違いもたくさんあるけれど、同じところもたくさんあります。人と人とのつながりを大事にするところ、ごめんなさいを素直に言えるところ、挨拶から始まることです。「えー、そうかな?」という意見もあるかもしれませんが、私はそう思いました。……H.A.さん/高3[神奈川]

中国に行ってみて思ったことは、中国の人はやっぱり中国の人だったということです。自分の思っていることを人にはっきり伝えるし、頻繁に大きな声で叫んでいます。すぐ態度にも出ますし……。それは日本人からしたら理解し難いことだから、あまりいいイメージを持ってないのでしょう。日本人だって、外国の人からしたら、理解不可能なことがたくさんあると思います。違う土地に住んでいるのだから違うのは当たり前だし、お互いの違いを認めていくことが大切だと思います。……K.Y.さん/高3[北海道]

今や中国は日本やアメリカのような都市が増えている一方で、観光地などで大したお金にならないものを必死で売ってやっと生活できる人や、地下道などで生活しなければならない人がたくさんいました。あふれている貧しい人たちをどうにかしてあげられるような機関がもっと増えればいいのにな、と思いました。……Y.M.君/高3[奈良]

秀水市場での買い物。日本ではあり得ない中国ならではの買い物の仕方に、僕は虜になってしまいました。売り手は買い手の格好や人柄を見極めてその人に合った値段を決めて交渉を始める。売り手の人たちの頭の鋭さに買い物を忘れて僕は、一人の売り子の店でその光景をずーっと眺めていました。……W.T.君/高3[長野]

中国の高校生と友だちになりました。日本語がペラペラな子もいてとても驚きました。日本と違い、一日中勉強だそうです。日本も少しは見習ったほうがいいのではないかと思いました。そのほかに驚いたのが、日本で人気のある漫画や芸能人が、私が思っていた以上に、中国で人気があったことです。日本と中国にも共通している部分はあるんだと感じました。……O.M.さん/高2[大阪]

た 中 国 !

p.4～7に掲載した参加者および引率教師のメッセージは、感想文集『朋友—‘漢語橋’日本高校生夏令営の記録—』から抜粋、編集しました。引率教師の所属や高校生の学年などは、プログラム実施当時のものです。

さまざまな出会い



10日間のこの研修では、中国語のスキル向上よりも**日本中に友人ができたことが一番の収穫だった**と思う。「中国語という言語が、日本中の高校生を集め、強い絆で結んだ」。こう言っても過言ではない。
……K.M.君/高3【神奈川県】

(大連市第十六中学の)林ちゃんに日本のお菓子と、女子高生の間で今流行しているマスコットを渡すと、「私、何も用意してない!」と言って、止める間もなく猛ダッシュでいなくなっていました。3分後息を切らして帰ってきた林ちゃんは、**私と友だちを買ってきたばかりの人形を一つずつくれました。私たちのために必死になって買いに行ってくれてとてもうれしかったです。**
……K.M.さん/高3【神奈川県】

この研修で私の心に最も残ったことばは、**中国政府の方が言ってくれたことば**です。「日中が不仲であった歴史は一

瞬であります。今あなた方が中国に来てくださったことで日中関係はより良くなり、交友関係は百年も何千年も続くことでしょう。私は今もたくさんの方の中国の学生と手紙のやりとりをしています。中国政府の方が言ってくれたことばを忘れずに何年も交友関係を続けていきたいと思っています。
……K.Y.さん/高2【大阪】

大学での授業は中国の先生が教えてくれました。**最初は、ことばもよく分からなくて、戸惑うことばかりでしたが**、先生はそれでも丁寧に教えてくださり、中国の人の優しさを感じました。授業が進んでいくなかで、先生の質問や、言いたいことが少しずつ分かってきて、最後の成果発表では、自分なりに先生の顔を立てるために精一杯頑張りました。**最終的に、先生と離れたくないと思うほど、とても温かい人だなと感じました。**
……E.T.君/高3【静岡】

頑張った、気づいた、成長した



中国に行って**世界は広いな、と感じました**。今まで日本しか知らなかった私は、中国の生活文化、歴史にただただ驚くばかりでした。それほど、中国の現状は日本と大きく違っていました。同行してくださった方は、昔の日本は今の中国のようだった、一緒だよ、と話してくださいましたが、今の日本しか知らない私には少し信じられない話でした。
……M.M.さん/高3【千葉】

中国語の授業のなかで覚えた**自己紹介の文や、家族紹介などを早く実践してみたくて**、さっそく友だちと泊まっていたホテルの地下にある寿司屋へ中国人の店員たちとおしゃべりしに行きました。北京のホテルに滞在中、3日もそこに通っていました。
……T.K.さん/高2【三重】

以前は自分の意見を主張することが苦手でしたが、中国でも良い刺激を受け、少しではありますが**前向きになれた**感じが

します。それから交流を通じて、**以前より相手を気遣うことができるようになりました。**
……K.S.さん/高3【和歌山】

中国に行って、**日本全国に、中国に友だちができた。この絆がとても自分に自信を持たせるものとなりました**。私は少し内向的になりがちだったのですが、うまくバランスをとれるようになりました。今回の中国研修のおかげで**本当に成長することができました。**
……M.R.君/高2【神奈川】

研修に参加して一番感じたことは、外国に行って実際に生の語学を体験して、自分を今までと違う環境のなかに放り出す。すると、人は**自分の周りの環境に合わせてようと自ずと努力**をします。そうさせてくれることが、**実際に外国へ行って勉強をすることの貴重さ**だと思います。
……I.K.君/高3【熊本】



子々孫々まで続く友好を願って

在日本中華人民共和國大使館公使參事官
孫建明

中国国家漢語國際推進指導グループ(以下「漢弁」)は、中国語の国際的普及を促進するためにさまざまなプログラムを実施しています。「漢語橋：世界の中高校生サマーキャンプ」もその一つです。サマーキャンプの目的は、世界の若者の中国語学習意欲を高め、学習者の中国語能力および中国文化に対する理解を深めることにあります。

中華文明は、五千年の時を絶えることなく脈々と伝承されてきた文明です。世界文明の至宝といえます。一方、言語は文化を伝承する媒体であり、人類交流の懸け橋です。今日、世界が抱える二大課題は平和と発展です。そのどちらの実現にも交流と相互理解が不可欠であり、言語を通じたコミュニケーションをその拠りどころとしています。したがって、中国語教育を推進することは、世界の人々に「中華文明」「現代の中国」「世界の平和と発展を必要とし、その実現を願ってやまない中国」を知ってもらうことにつながり、中華文明の深遠な知識と知恵をもって、人類の幸福に寄与することにもなります。

中国大使館は、今回のサマーキャンプの後援機関として、

日本側関係機関と漢弁間の調整や、国際航空券の手配、事前研修の会場提供などに協力しました。東京会場での事前研修には私も出席し、期待に目を輝かせる参加者たちと対面しました。そして、実施後にまとめられた感想文集を読んで、10日間さまざまな体験をした日本の高校生と引率教師にとって、印象深いサマーキャンプとなったことを知り、大変うれしく思いました。また、参加した高校生のうち3年生の多くがその後中国語専攻の大学に進学することが決まった、という朗報を聞きました。サマーキャンプへの参加が少しでも彼らの進路決定の後押しとなったのなら、喜ばしい限りです。

若者は世界の希望と未来です。「漢語橋：世界の中高校生サマーキャンプ」への参加を通じて、中国と日本の青少年の交流がますます深まり、日本の高校生が自らの体験を通じて中国語および中国文化をより深く理解し、中日両国が子々孫々の時代まで友好関係を続けるための揺るぎない礎となることを、心から願っております。

★中国語の原文をもとにTJFが翻訳・編集しました。

子どもたちの成長を 目の当たりにして

研修の感想文集に寄せられた引率教師のメッセージや、参加者の中国語担当教員と保護者からの手紙、メールの一部を抜粋し、編集しました。



交流に見た新しい世代の希望

中国の高校生と交流している様子を見て、魯迅の『故郷』を思い出していました。主人公の息子とルントウの息子が遊んでいる姿を見て、主人公は新しい世代の希望を見いだします。日中の高校生が中国で一緒に買い物をしたり、交流したりなどということは、私たちの時代にはほとんどなかったことで、これからの日中関係の希望を見たように思いました。私たち古い世代ができなかったダイナミックな交流をしていってほしいと願います。

……立命館宇治高等学校
石田あきら(引率教師)

まぶしかった高校生の姿

係ではないのに、言われなくても自らバスにスーツケースやペットボトルを積み込む仕事をしてくれた男子たち。バスの窓から街の様子をしっかりと観察して、質問する生徒もいました。授業でも自ら手を挙げて前に出て発表したり、成果発表の練習で一生懸命漢詩を暗唱する皆さんの姿にエネルギーを感じました。ハイライトは大連での中国の学生との交流です。2対1の交流でしたが、相手の顔をしっかりと見ながら、あるいは腕を組みながら、楽しそうに会話をしている姿はとてもまぶしかったです。若い皆さんの柔軟性に大変感心しました。

……さいたま市立浦和高等学校
西岡民子(引率教師)

刺激になった夏令営

今回の研修には神奈川県から13名の生徒が参加していました。帰国後神奈川県からの参加者には「神奈川県中国語学習高校生交流会」で夏令営(サマーキャンプ)の報告をしてもらいました。同じ学校の生徒は一人としていない中、事前準備もしてしっかりした報告でした。その報告を聞いていると、今回の研修が彼らにとってはとても刺激になったということがよく分かりました。来年以降もぜひともこの「夏令営」の継続を望みます。

……神奈川県立外語短期大学付属高等学校
潮田康之(引率教師)



友情の橋を架け、日本語教育を促進

旅順第二高級中学日本語教師
 喬紅宇

日本の高校生がわが校を訪れた日から半年が経ちましたが、中日の生徒が演奏した音楽の音色や歌声が今も耳に残っています。また、一緒に中国の伝統的な遊びや伝言ゲームを楽しんだり、写真を撮ったり、別れを惜しんだりした情景が、昨日のこのように思い出されます。

交流会が終わって数日が経っても、わが校の生徒たちは楽しい思い出に浸っていました。日本の高校生の印象を聞いてみたところ、多くの生徒は、日本の高校生は堂々としていて、好奇心が強く礼儀正しい、日本人のイメージが変わったと言っています。

交流会は、中日の高校生同士の友情を深めただけでなく、彼らの国際的な視野も広げたと思います。

交流に参加した生徒たちの感想

- ・日本の高校生は大人っぽく、自由奔放で快活、なにか別の「落ち着き」をもっていていると思った。
- ・日本の高校生は英語が上手なうえに中国語もできる。その勉強熱心なところを見習わなきゃ。吸収力も高く、あっという間にハンカチ回しや羽蹴りを覚えて、本当に感心した。
- ・日本の高校生の立ち振る舞いは上品で、礼儀正しいと思った。

その後、二十数名の生徒が電子メールや手紙、電話で日本の高校生と交流を深めています。なかにはいつか相互に訪問して観光案内をし合おうと約束しているものもいるようです。

日本の高校生が来てくれたことで、わが校では英語を学ぶ生徒も日本語に興味をもつようになりました。英語の各クラスで日本語を学びたいという生徒が80%以上いることがわかり、新学期から日本語の選択科目を開設しました。今回の交流会が英語学習者の間に日本語学習ブームを起こしたといえます。

今回の交流を通じ、日本語教育においてコミュニケーション能力を養成することの重要性を強く感じました。そのため、日々の授業のなかで文法の割合を減らし、ロールプレイなどコミュニケーション能力を伸ばす教室活動を増やしました。生徒たちは以前よりも積極的に授業に参加するようになりました。交流会は日本語学習者の意欲も大いに刺激したといえます。今後も日本の高校生と交流する機会がもてることを願っています。

★中国語の原文をもとにTJFが翻訳・編集しました。



研修が送りこんでくれた「風」

まず大変だったのが自分が教えているクラスの生徒たちの応募でした。どの子にも行ってほしいのに、1校当たり5名しか応募できないということになっていました。残念ながら選にもれた生徒も、その意欲はその後いくつかのスピーチコンテストの参加というかたちに結びつきました。今回の研修応募者の5人が中心となり、今も毎日放課後に練習に取り組んでいます。H君(今回の参加者)の中国ばなしもこのときばかりは花が咲き、ほかの生徒たちにとって、いい発奮材料となっています。

……東大阪市立日新高等学校
 須田美知子(引率教師)

娘が変わった

娘は高校入試の際、第一志望に受からず、自信をなくした状態で今の高校に入学しました。入学後、何か新しいことに挑戦して自信をもてればと思い、「中国語」を選択するようアドバイスしました。本当に良かったのか疑問はありましたが、高校生活最後の夏に中国研修に参加できたことは、これからの大学入試に向けて大きなステップになったと思います。娘は消極的な性格ですが、帰国した時、「何か違う娘になっているぞ!」と感じました。10日の間に友だちもたくさんでき、今もメール交換をしているようです。中国研修に参加させていただいたことに感謝しています。

……参加者の母

成長しました

感想文集を拝見しました。参加者たちの感動と引率の先生方のご苦労が伝わってきます。私が教えている二つの高校から1名ずつ参加しましたが、この研修でたいへん成長し、また中国との絆がより強くなりました。彼女たち2人は以前よりずっと輝いています。うち一人は目標であった大学の中国語学科に合格しました。彼女に続け! とばかりに、同校の生徒4名がこれから1週間、中国の高校に短期留学し、その後北京観光に行くことになりました。

……参加者の中国語担当教員

メールがつながる友情

研修後に実施したアンケートで、参加者91名中86名が、今後連絡を取り合う中国の友だちができた、と答えています。神奈川県の高校から参加した元香さんもその一人です。帰国後、大連で出会った孫さんとメールや手紙のやりとりを続けています。特にメールは、元香さんのことばを借りると「完全に日常生活の一部となっている」ほどで、最低でも週1回

送っているそうです。孫さんは日本語を勉強していないので、初回のメールは英語でしたが、元香さんが中国語で返信してからは、すべて中国語でのやりとりです。元香さんは「おかげでかなり中国語がうまくなりました」と話してくれました。いったいどんなやりとりをしているのか、その一部をご紹介します。

私はこういう女の子

M (元香さん) : 我的爱好是做点心，最喜欢做的点心是蛋糕，我喜欢也听音乐。我更喜欢学汉语和中国文化。我将来当在中国的空中小姐。

私の趣味は菓子づくり、特にケーキ。音楽を聴くのも好きだけど、もっと好きなのは中国語と中国文化の勉強よ。将来中国線のスチュワーデスになりたいと思っているの。

S (孫さん) : 知道你会做饭我觉得好惭愧呀！我除了会煮方便面，就只会炒鸡蛋了。可你还会做蛋糕，~~呜呜~~我妈妈说我要是一个人在家，说不定会被饿死的。我也要学做饭。

お料理ができるの？ 私、恥ずかしい。私はインスタントラーメン以外は卵炒めしかできないの。ケーキも作れるなんて、～ああ～。ママが言ってたわ、独りで留守番させたら餓死するかもって。私も料理を習わなきゃ。

あなたは有名人

S : 你知道吗？在我家里你很出名的。爸爸、妈妈、奶奶都知道你。看了你的照片都说是个可爱的日本女孩。也是因为你我爸爸才同意让我上网的。

知ってる？ わが家ではあなたは有名人よ。パパもママもおばちゃんもみんなあなたのことを知ってるの。写真を見てかわいい日本の女の子だって。だからパパはインターネットを許してくれたのよ。

M : 真的吗！?我很高兴啊！我爸爸、妈妈、弟弟也都知道你。在学校，我的朋友和中文的老师也知道你。大家看了照片说了“很可爱”。ほんど？ うれしい！ 私のパパとママと弟もあなたのことを知ってる。学校の友だちも中国語の先生も。みんなあなたの写真を見て「かわいい」って言った。

おいしいものいっぱいあるの

M : 我的中文老师教过我中秋节，所以我昨天吃了月饼。在日本，没有吃月饼的习惯，所以，我去了很多店买月饼。第一次吃月饼，很好吃！

中国語の先生に中秋節の過ごし方を教えてもらったので、昨日月餅を食べたよ。日本では食べる習慣がないから、いろんな店に行って探してきたの。

S : 中国除了在中秋吃月饼，还有元宵节会吃汤圆，端午节吃粽子，还有好多好多好吃的。等你考上空姐到中国的时候你都可以品尝。中国では中秋節には月餅、元宵節(旧暦の1月15日)には汤圆(餡入り白玉)、端午節には粽(ちまき)、そのほかにもおいしいものがいっぱい。スチュワーデスになって中国に来たら全部食べられるよ。

間違っているよ

S : 先纠正你的一个错误：“我等了两个小时”应该是“我等了两个小时”。我决定如果以后你再有写错的地方我就告诉你，不过每封信只纠正你一个错误，这样应该对你的中文有一定的帮助。

まず一つ間違いを訂正。「二つの時を待った」ではなく、正しくは「二時間待った」よ。これから中国語の間違いがあったら教えてあげるけど、訂正は1回のメールにつき1ヵ所だけ。中国語の勉強に役立つんじゃないかしら。

M : 你告诉我的错的地方，谢谢你啊！我很高兴！以后我的汉语很多进步呀！！

間違いを教えてくれてありがとう。とてもうれしい！これから私の中国語ももっと上手になるでしょうね。

友情は永遠に！

M : 我要写英语的毕业论文，我写对你和我们的友情！！当完成的时候，我给你看一看！！

英語で卒業論文を書かなきゃならないけど、私とあなたの友情について書くことにした。完成したら見せるね。

S : 你说的是真的呀！我好高兴呀！我要和你成为永远的朋友，永远永远的好朋友。

それ、本当？うれしいな。永遠にあなたと友だちでいたい、ずっとずっと友だちで！

★原文は中国語。TJFが日本語をつけました。



元香さん(左)と孫さん。



孫さんから元香さんがもらったクリスマスカード。

成果と課題： より充実した研修に向けて



第1回を振り返って

今回の研修は、中国語のレベルアップを図ることがおもな目的でしたが、「(中国を)実際に見る、空気を吸う、食べる、歩く、買い物をする。そういう日常的なことを体験してみたかった」、「人見知りを少しでもいいから取り除くというもの、私の研修参加の目的でありました」、「中国語を上達させるということも大事ですが、初めて出会う人をどう受け入れるのか、そういったことも大事だと思います」というように、高校生たちの参加動機も目的意識もさまざまでした。しかし、10日間の研修を通じて一人ひとり何らかの成果を得ることができたことは、感想文からもうかがえます。中国語学習に関しては、ことばが通じない、思ったほど話せないという悔しい思いが学習意欲に変わったり、課題が見つかって努力する方向が見えたり、逆に進歩や実力を実感して自信をつけたりしたようです。中国に関しては、さまざまな発見や驚き、戸惑いを通じて理解を深めていったようです。交流に関しては、研修仲間、大学の先生や現地の高校生をはじめとする中国の人々との出会いが最も印象深く、心に残ったようです。そして、参加者の多くは、10日間の研修生活が人間的な成長につながった、と認識しています。

第2回の改善点

今回は、初めての実施であったことに加え、中国政府の招聘決定から実施までの準備期間が非常に短かったこともあって、多くの課題を残しました。第2回に向けて改善していきたいのは、①事前研修の充実、②研修日程の調整、③交流の充実と工夫の3点です。

今回の研修では、自分の名前や学校名を正確に発音できなかったり、簡体字で表記できなかったために、現地の高校生との交流時に戸惑うことがありました。交流がプログラムの目的の一つになっていることを踏まえ、次回は自己紹介のための最低限の中国語は本番までに覚えてもらえるような工夫をしたいと思います。

また、研修日程については、中国語の授業が前半に集中し、

一日当たりの時間数が多かったため、参加者に疲労感と消化不良を感じさせたことは否めません。第2回の中国語研修は、大連市内の大学で中国語教育専門家による授業を午前に行うとともに、午後は教室で習った中国語を街で実際に使います。

また昨年大連で実施した、現地で日本語を学ぶ高校生との交流については、さらに拡充させて行うことにしました。具体的には、大連の高校生だけでなく、TJFが長年重点的に支援してきた東北三省の高校で日本語を学ぶ生徒の代表を集め、中国短期研修の参加者と交流する「日本語橋：中国の高校生サマーキャンプ」を実施します。イベント的な交流会ではなく、寝食を共にしながらアイスブレイキング、協働活動、成果発表などのように段階を経て交流を深めていくとともに、それらの活動が双方の学習言語のコミュニケーション能力の向上につながるようなプログラムを企画しています。

第2回漢語橋：日本の高校生サマーキャンプ実施概要

- 実施期間： 2008年7月25日(金)～8月3日(日)(ただし、6月中旬から下旬に実施する地域別事前研修への参加が必須)
- 参加者： 中国語を学ぶ高校生92名、引率者8名、計100名
- 参加資格： 授業および課外クラブなどで中国語を学習している高校生
- 研修地： 大連市
- 主催： 中国国家漢語国際推進指導グループ
- 実施： TJF
- 協力： 文部科学省
- 後援： 在中国日本国大使館、中国教育部、在日本中国大使館
- 受け入れ： 大連市教育局

第1回日本語橋：中国の高校生サマーキャンプ実施概要

- 実施期間： 2008年7月30日(水)～8月3日(日)
- 参加者： 中国東北三省で日本語を学ぶ高校生48名、引率者4名、計52名
- 研修地： 大連市内の大学
- 主催： 遼寧省基礎教育研究教師研修センター、TJF
- 後援(予定)： 中国教育学会中学外語教学專業委員会日語部会、吉林省教育学院、黒龍江省教育学院、大連市教育局、在中国日本国大使館